

議会 ICT 推進委員会 議事録

日時：令和7年11月11日（火）

午後2時20分

場所：議会会議室

○委員長（山田清一）

ただいまから、議会 ICT 推進委員会を開催いたします。協議題1「インスタグラムの運用について」を議題とします。

これまでの議論を振り返り、インスタグラム運用の目的を再確認したいと思います。本委員会の目的は、ターゲット世代に議会を身近に感じてもらい、興味を持ってもらうことにあります。しかし、現状を分析すると、議員個人への関心と議会全体への関心には大きな隔たりがあると感じています。

他自治体の SNS 運用状況を調査したところ、体裁が整っているアカウントの多くは事務局主導で運営されていますが、本市において議員が主体となって持続可能な形で運営していくには、現時点では限界があります。特定のメンバーに依存する体制では、次期への継続性が担保できません。

ここで参考にしたいのが、春日井市で活動する「シェフヒロ」氏の事例です。フォロワー数が300万人を超える背景には、身近なパートナーと試行錯誤し、素人の域を脱して表現力を磨き続けた努力があります。我々も、単に情報を流すのではなく、見せ方や内容をレベルアップさせていく姿勢が不可欠です。しばらく休憩します。

休憩 午後2時24分

再開 午後2時53分

○委員長（山田清一）

会議を再開します。協議の結果、今年度の運用方針を整理いたしました。まず、議会公式アカウントの設立を急ぐのではなく、議員個人のアカウントによる発信を継続し、各自がスキルアップを図ることを基本とします。その際、ハッシュタグ「#半田市議会」を活用するなど、意識的に議会の情報を織り交ぜていくことといたします。

また、本市議会には過去に開設されたものの、十分に活用されず形骸化している Facebook や X（旧 Twitter）のアカウントが存在するという課題も浮き彫りになりました。こうした二の舞を避けるためにも、まずは情報発信の土壌を整えることが先決です。

今後の活動案として、高校生との交流や生成 AI の活用による議員活動の効率化など、多角的な視点から ICT 推進のあり方を探ってまいります。

今後の進め方について確認します。今年度の ICT 推進委員会としての具体的な取り

組み案について、各委員は11月25日までに事務局へメールで提出してください。これを踏まえ、次回の委員会で詳細を協議いたします。

協議題2「その他」について伺います。

議員活動への生成AI導入に関する勉強会について、オンライン形式での実施を含め、政務活動費の運用等も考慮しながら検討を続けます。委員から何かあればお願いします。

【「なし」との声あり。】

以上をもちまして、本日の委員会を終了いたします。

散会 午後2時59分